

「平成28年度全国学力・学習状況調査」における

岬町の調査結果概要

平成28年11月

岬町教育委員会

全国学力・学習状況調査における本町の調査結果 平成28年10月

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称及び実施日

『平成28年度全国学力・学習状況調査』 実施日：平成28年4月19日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年（123名）、 中学校第3学年（142名）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

小学校：国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）
国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

中学校：国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）
国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

主として「知識」に関する問題

- ◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容
- ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用」に関する問題

- ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対するアンケート調査

- ◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対するアンケート調査

- ◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

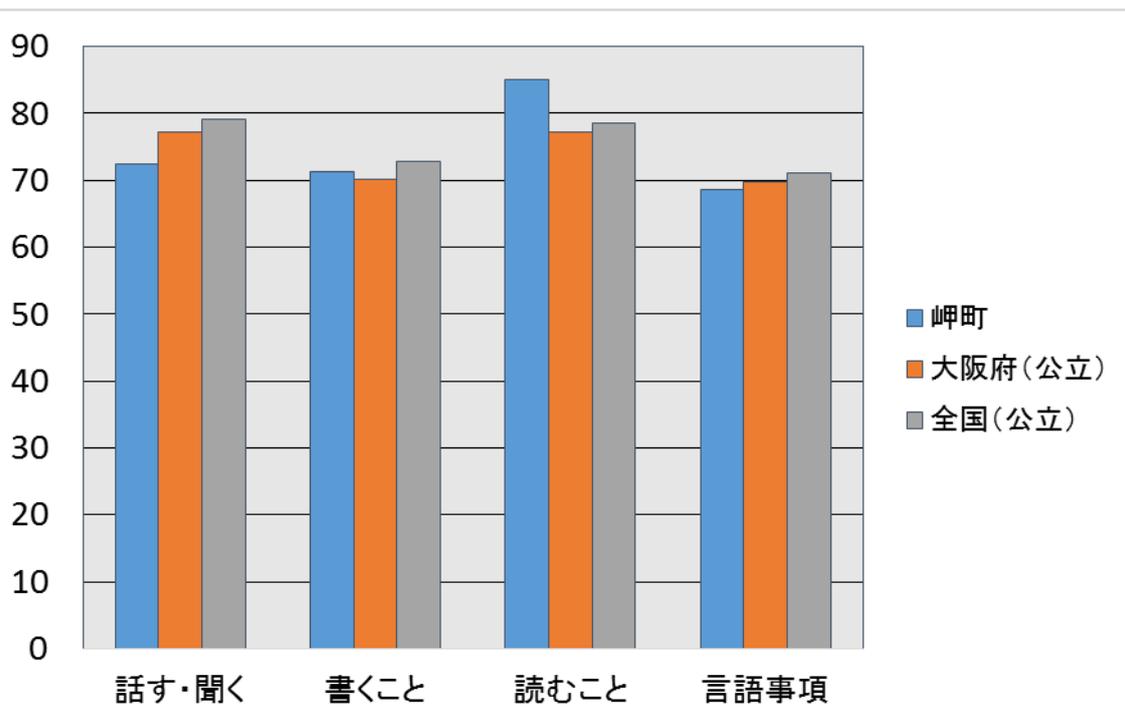
※ 本調査の結果は学力の一部です。

※ 参加児童生徒数は公立小学校 1,029,578 名・公立中学校 1,000,017 名です。

小学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で15問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎「読むこと」については、80%以上の正答率であり、良好である。

○「書くこと」については、70%以上の正答率であり、良好である。

●「伝統的な言語文化（言語事項）」については70%以下の正答率であり、やや課題がある。

◇A区分問題にみえる成果と課題

○漢字を正しく「読む」「書く」ことについては、90%以上の正答率があるもの、52%の低い正答率もある。

【例】「貯金」読む（正答率99.2%）「相談」書く（正答率52.0%）

○目的に応じて、図と表とを関係づけて読むことに、良好である。

【例】公園案内図とパンフレットにある表とを関係づけて読み、希望に合うものを選択する（正答率98.4%）

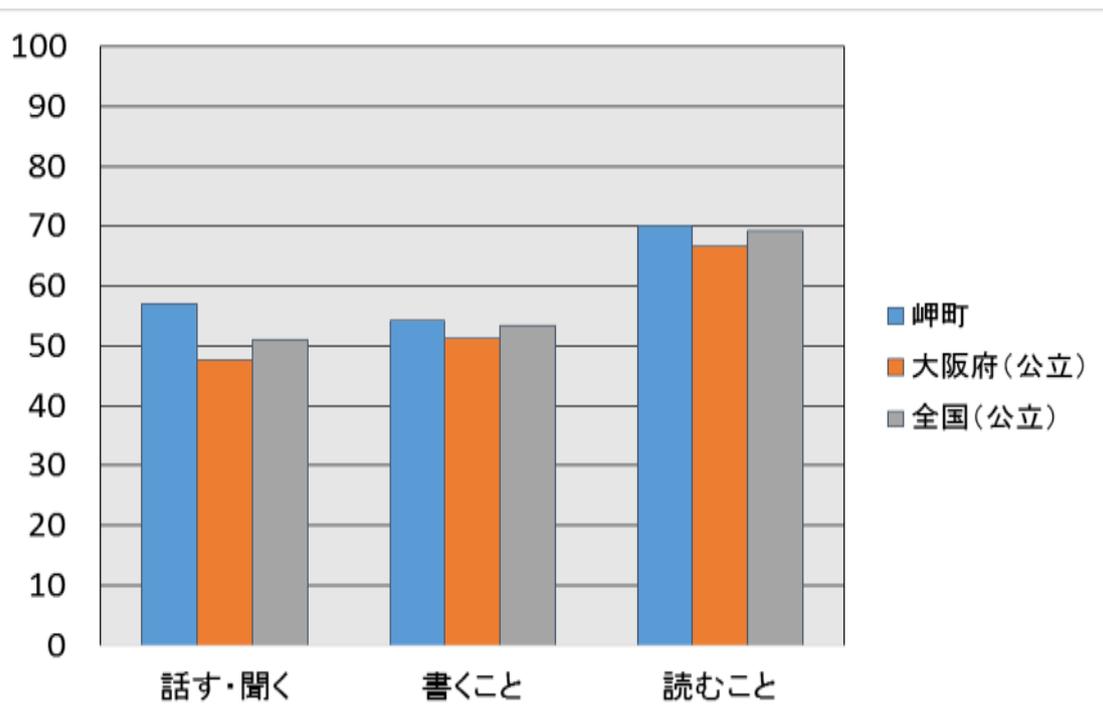
●目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けしながら話し合うことに課題がある。

【例】全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する。（正答率74.0%）

小学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で10問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



- ◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶
- 「読むこと」については、70%の正答率であり、概ね良好である。
 - 「書くこと」については、50%以上の正答率であり、概ね良好である。
 - ◎「話す・聞く」については、58%の正答率であり、良好である。

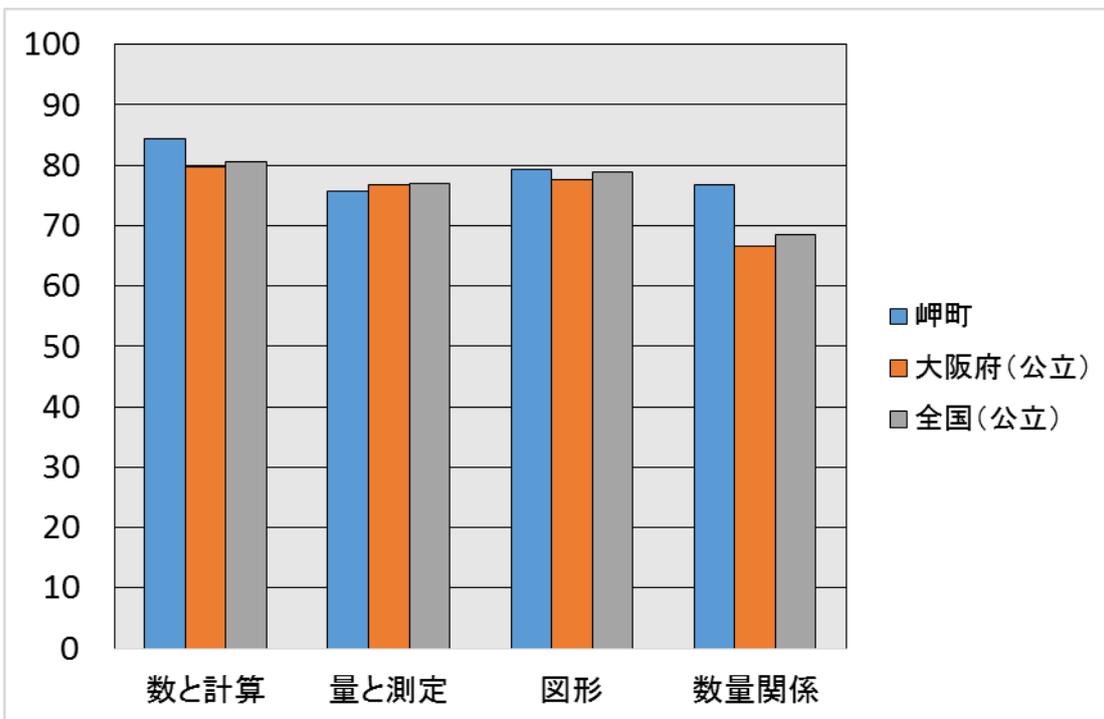
◇B区分問題にみえる成果と課題

- 活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えることが良好である。
【例】活動の報告文で、課題を取り上げた効果として適切なものを選択する。(正答率 67.2%)
- 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることについて、良好である。(正答率 82.4%)
- 目的や意図に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することが良好である。【例】複数の資料の内容を関係づけてまとめたものとして適切なものを選択する(正答率 81.1%)
- グラフを基に、分かったことを的確に書くことに課題がある。(正答率 33.6%)

小学校算数A

◇問題数等 算数Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で16問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎「数と計算」については、80%以上、「数量関係」については、70%以上の正答率があり、特に良好である。

○「図形」については、70%以上の正答率で概ね良好である。

●「量と測定」については、80%以下の正答率でやや課題がある。

◇A区分問題にみえる成果と課題

◎基礎・基本の計算力については、ほぼ80~90%以上の正答率であり良好である。

【例】 $65+0.3$ 、 $18\div0.9$ 、 $5/6\div7$

◎不等号を理解していることについて、良好である。(正答率99.2%)

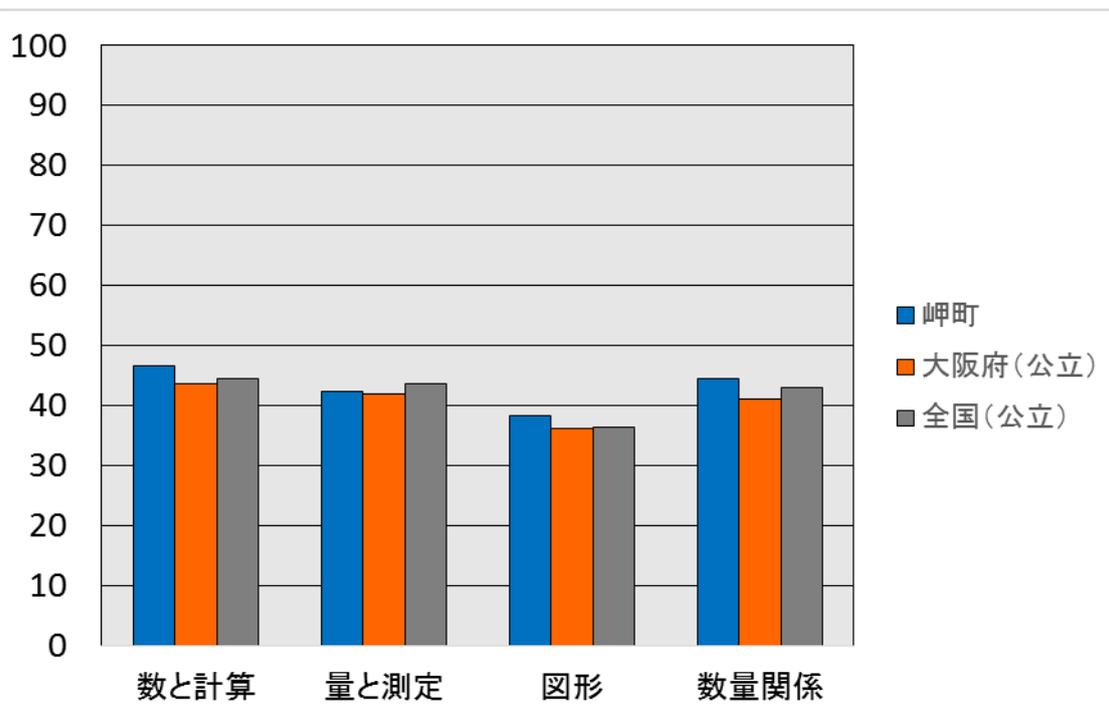
○図形の構成要素に着目して、図形を構成することができることについて、概ねできている。

【例】4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ(正答率81.3%)

小学校算数B

◇問題数等 算数Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で13問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

◎「数と計算」「数量関係」については、40%以上の正答率があり、特に良好である。

○「図形」については、40%以上の正答率で概ね良好である。

●「量と測定」については、50%以下の正答率でやや課題がある。

◇ B区分問題にみえる成果と課題

○示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができるについて、高い割合できている。(正答率 63.9%)

●示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できることに課題がある。

【例】目標のタイムを求める式の中の 0.4 や 0.3 が表す意味を書く (正答率 12.3%)

●縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できることに課題がある。(正答率 35.2%)

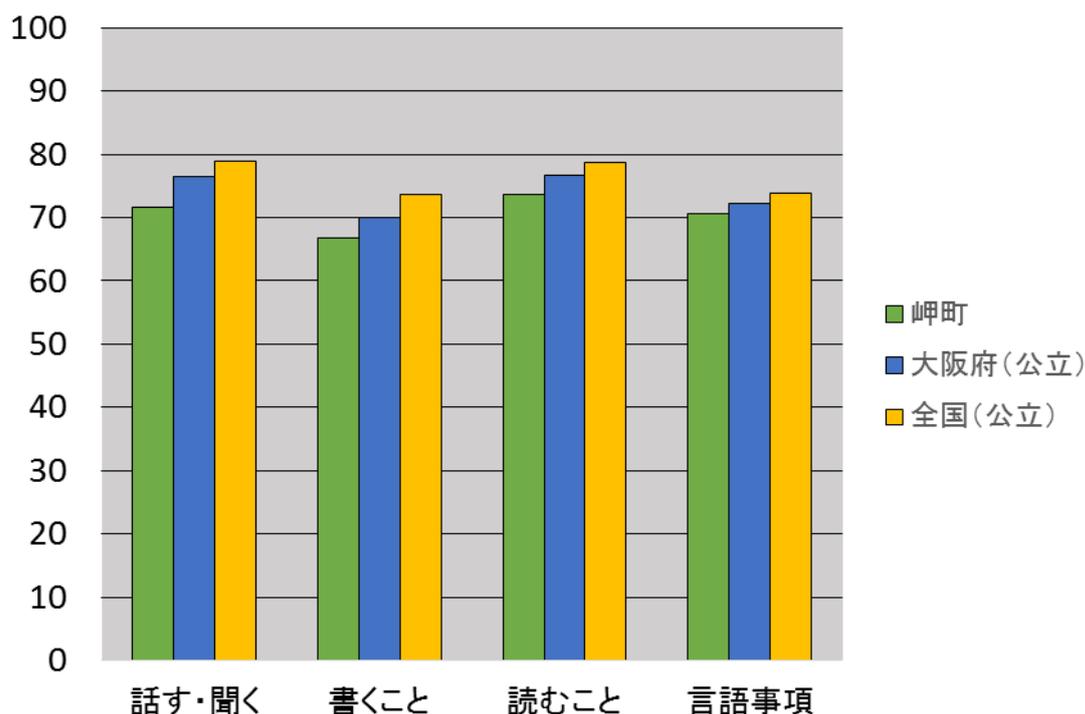
平成28年度 全国学力・学習状況調査 報告

平成28年10月

中学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で33問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

- 「書くこと」については、70%以下の正答率で特に課題がある。
- 「読むこと」「話すこと・聞くこと」については、80%以下の正答率であり、課題がある。

◇A区分問題にみえる成果と課題

- 文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。
【例】「ドクソウ的」(正答率 16.2%)
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。
【例】適切な語句を選択する(会長候補として、白羽の矢が立つ)(正答率 42.3%)
○歌に表れた作者の思いを想像することについて、概ねできている。(正答率 96.5%)

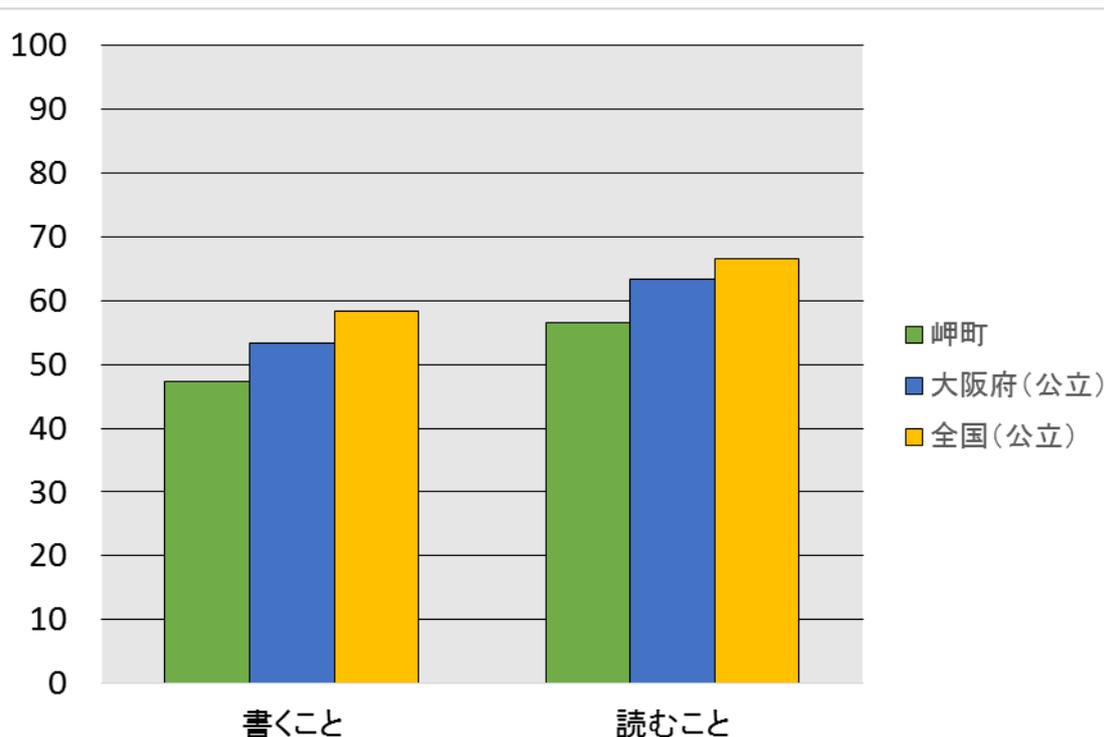
平成28年度 全国学力・学習状況調査 報告

平成28年10月

中学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で9問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別 (「話すこと・聞くこと」に関する出題なし)



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

- 「書くこと」については、50%以下の正答率であり、特に課題が大きい。
- 「読むこと」については、60%以下の正答率であり、課題がある。

◇B区分問題にみえる成果と課題

- 文章の構成を捉えることについて課題がある。(正答率 51.4%)
【例】雑誌の記事の説明として適切なものを選択する。
- 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える(正答率 38.0%)
【例】調べるために必要な本の探し方を書く。
- 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。(正答率 48.6%)

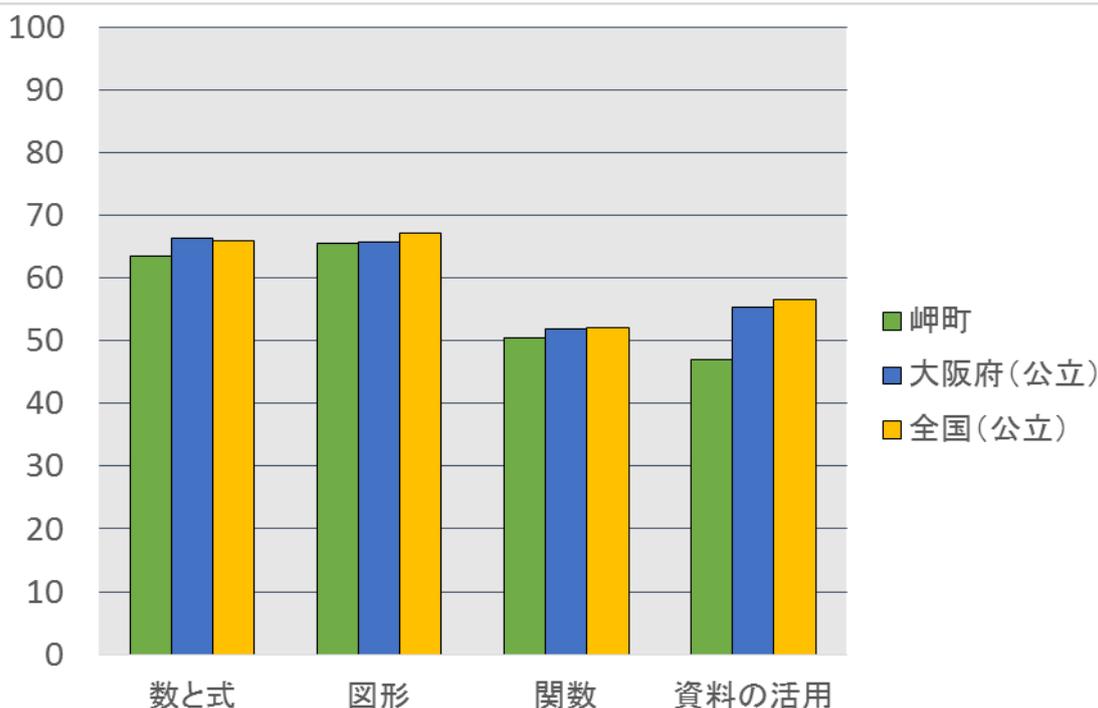
平成28年度 全国学力・学習状況調査 報告

平成28年10月

中学校数学A

◇問題数等 数学Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で36問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、70%以下の正答率であり、課題がある。
- 「図形」については、60%以上の正答率であり、やや課題がある。
- 「資料の活用」については、50%以下の正答率であり、特に課題が大きい。

◇ A区分問題にみえる成果と課題

- 自然数の意味を理解していることについて、課題がある。(正答率25.0%)
- 整式の下方と減法の計算ができることについて、概ねできている。(正答率85.0%)
- 四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解していることについて、概ねできている。(正答率84.3%)
- 見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができることについて、理解できている。(正答率81.4%)
- 一次関数のグラフからXの変域に対応するYの変域を求めることができることについて、良好である。(正答率47.1%)
- 資料を整理した表から最頻値を読み取ることができることについて、課題がある。(正答率29.3%)

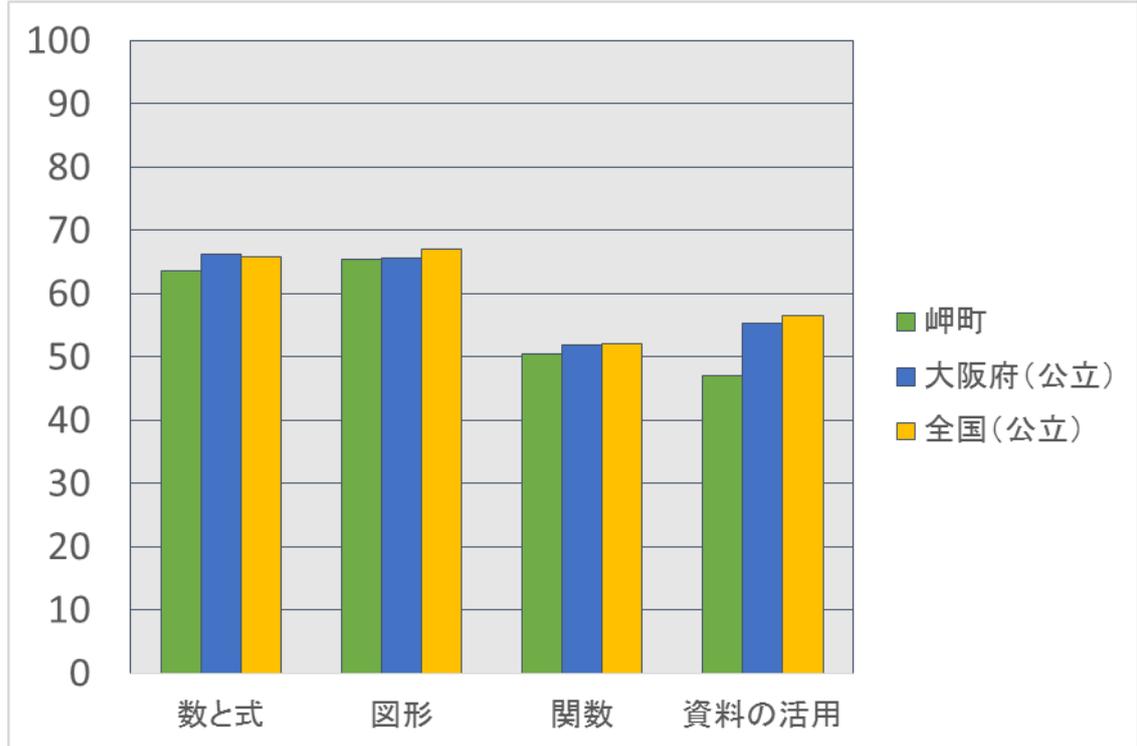
平成28年度 全国学力・学習状況調査 報告

平成28年10月

中学校数学B

◇問題数等 数学Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で15問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・★昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、70%以下の正答率であり、課題がある。
- 「資料の活用」については、50%以下の正答率であり、特に課題が大きい。
- 「図形」については、60%以上の正答率であり、概ね良好である。

◇B区分問題にみえる成果と課題

- 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができることについて課題がある。

【例】Aさんの提案を取り入れたとき、1試合の時間をもとめるための方程式をつくる。
(正答率27.9%)

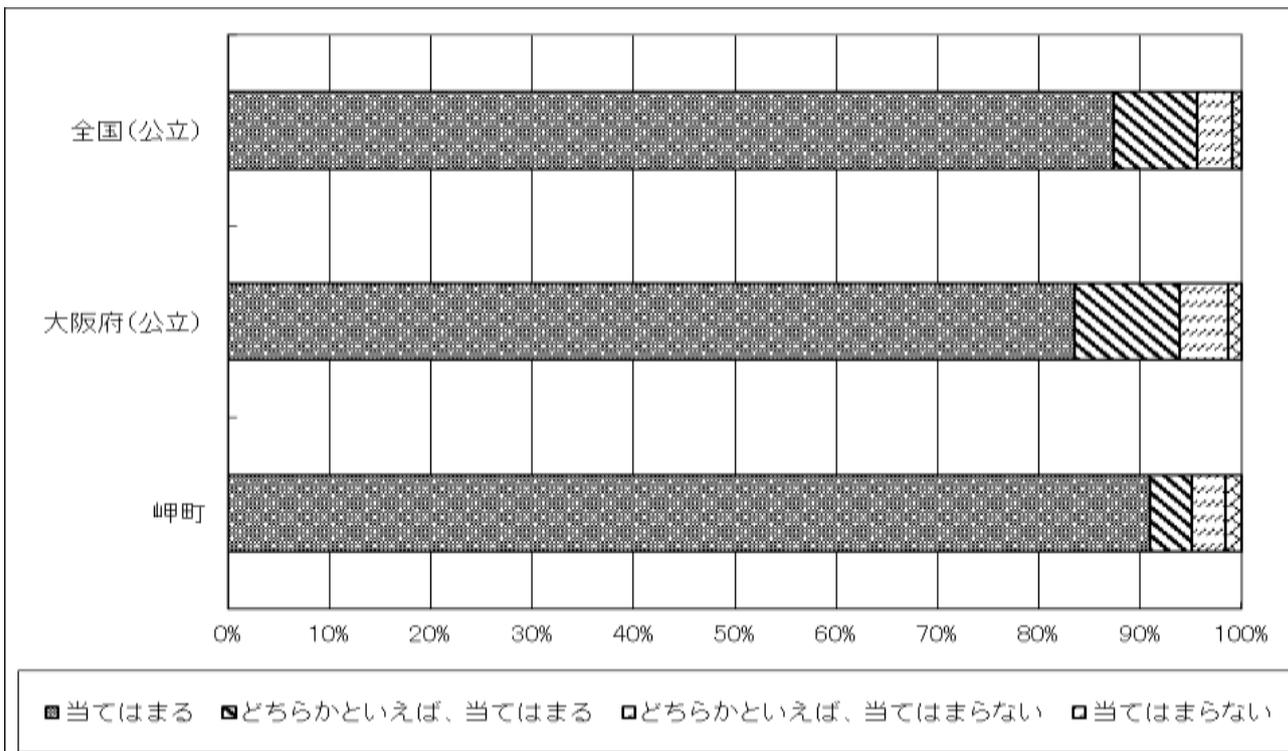
【例】25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く。(正答率21.4%)

岬町の子どもたちの生活の様子

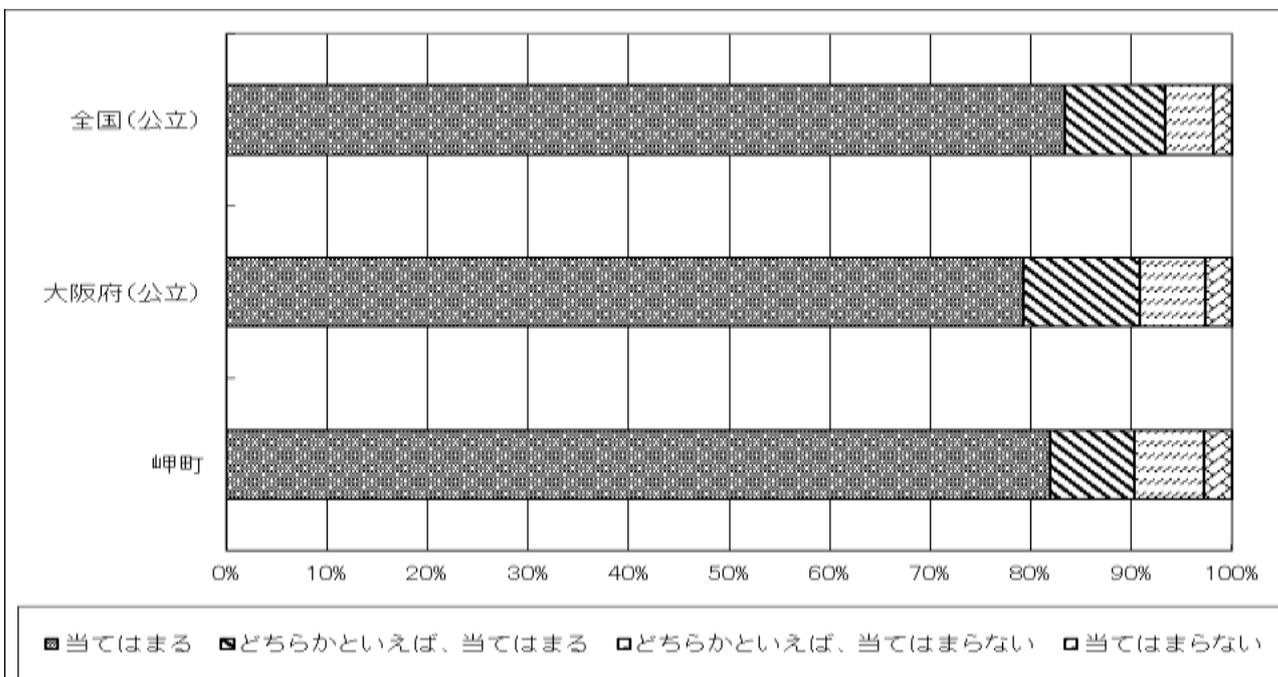
(小学校・中学校)

—児童・生徒質問紙より—

1, 朝ごはんを毎日食べていますか（小学校）



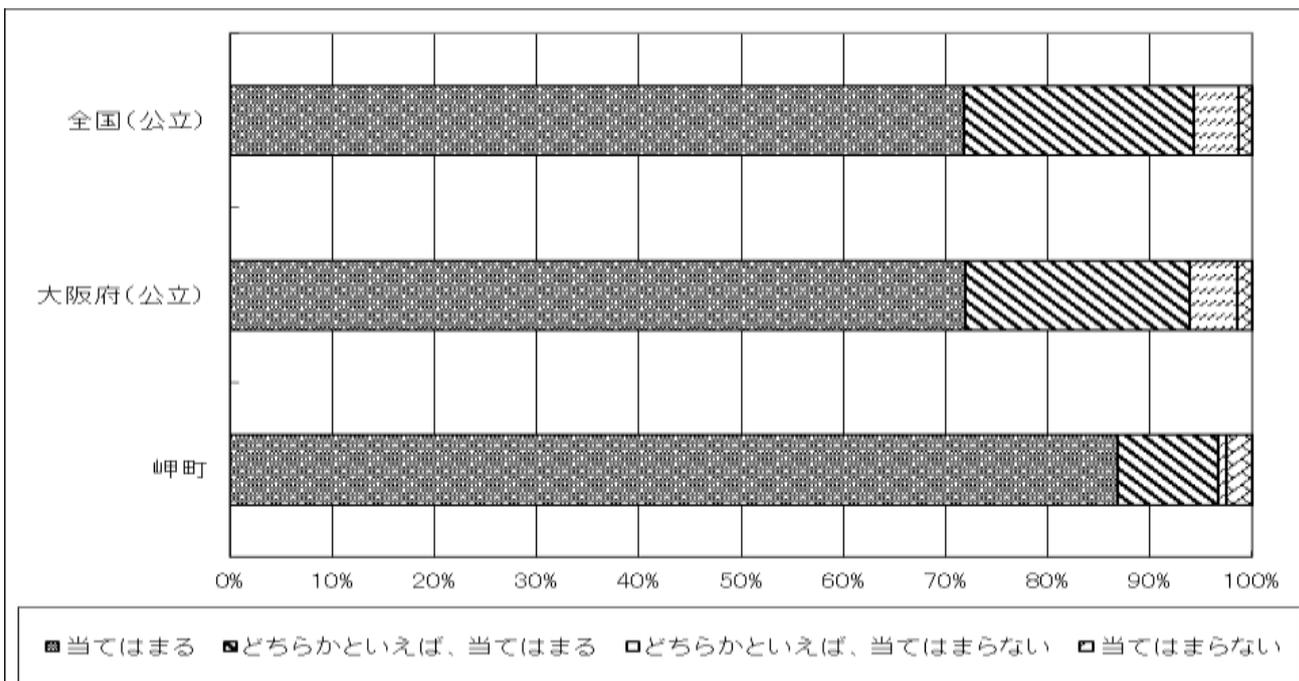
1, 朝ごはんを毎日食べていますか（中学校）



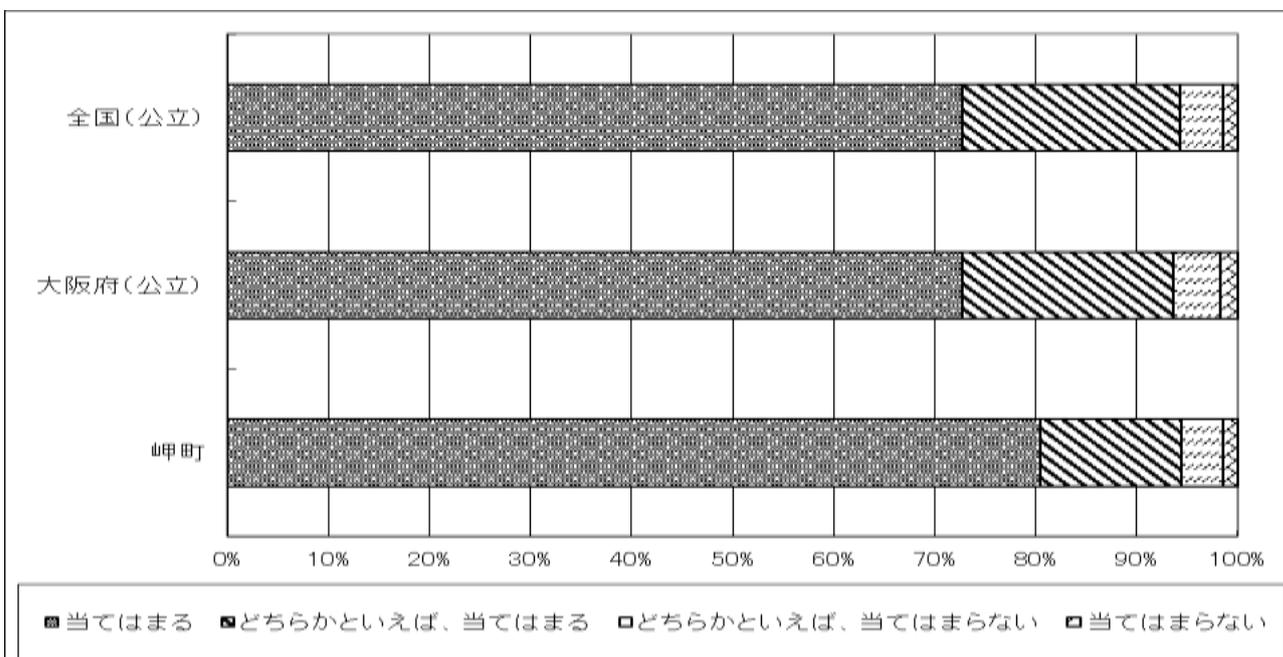
◎ 「している」「どちらかといえばしている」割合は、小中学校ともに90%を超えている。

● 「していない」「どちらかといえばしていない」の児童・生徒について、今後とも状況を把握し家庭に対して丁寧な働きかけを続けていく必要がある。

2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
（小学校）

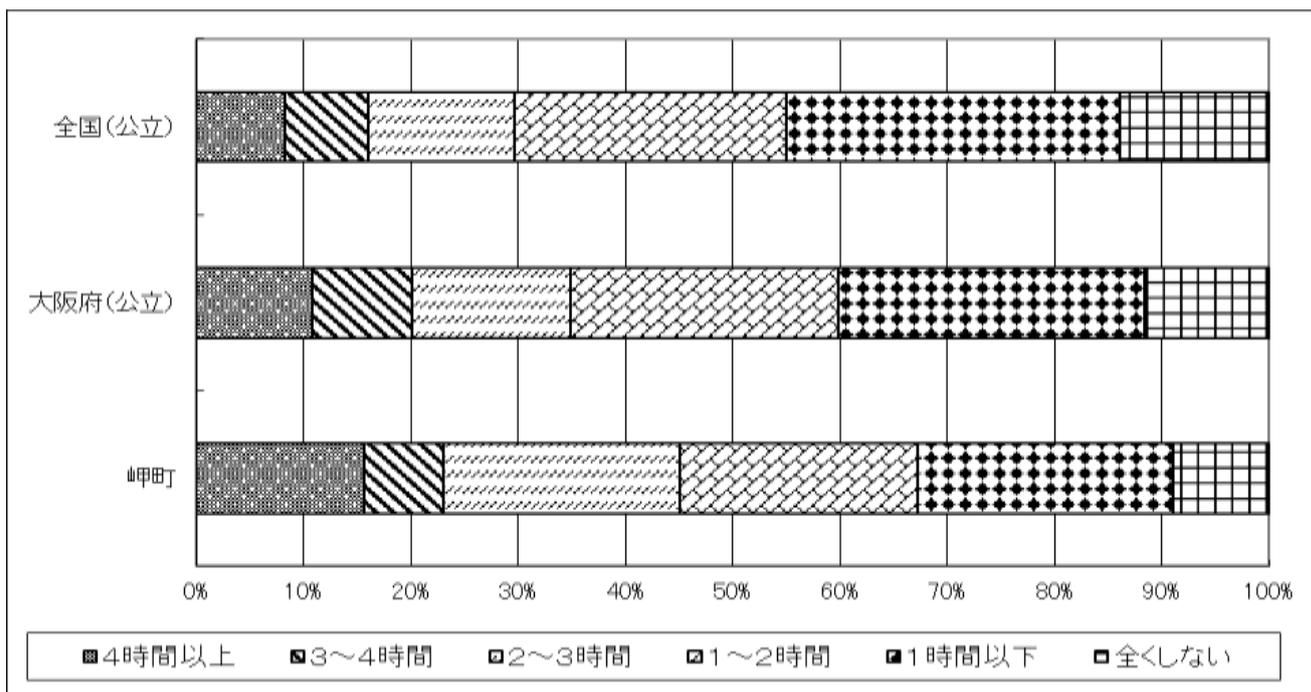


2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
（中学校）

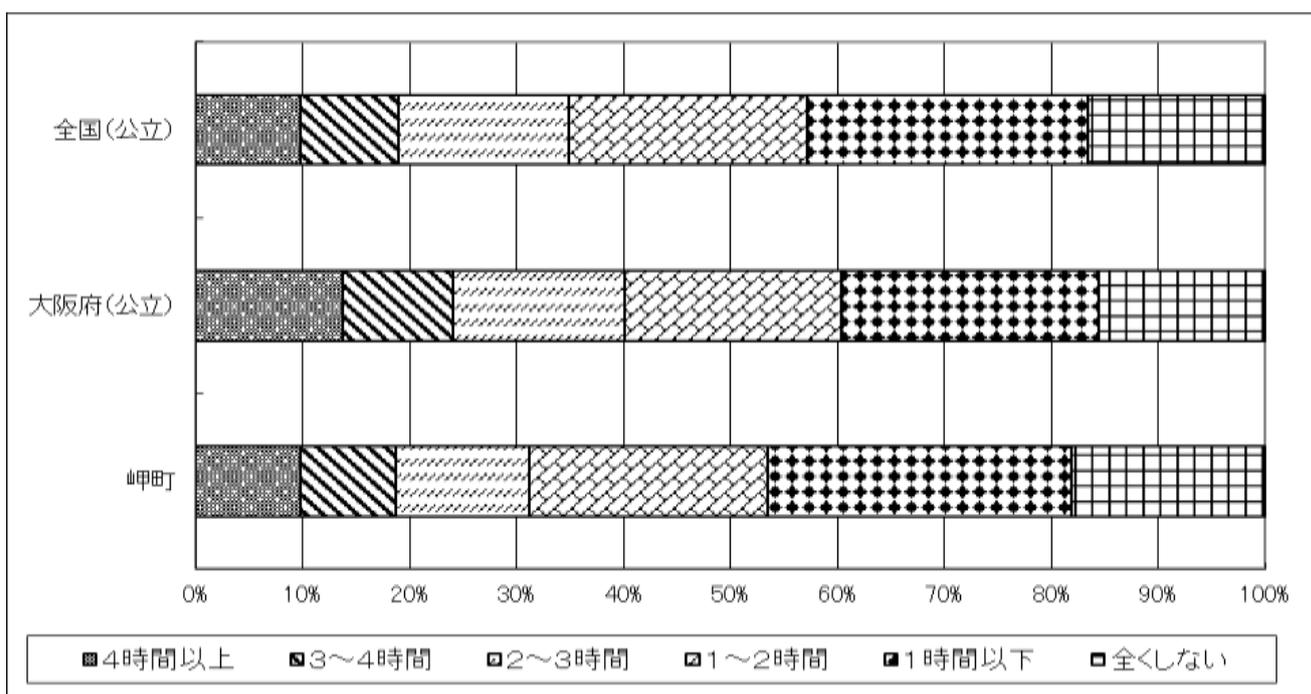


- ◎「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合は、小中学校ともに95%を超えている。
- ◎小学校では、昨年度と比較しても割合が上昇している。今後とも達成感を得られ、意欲がわいてくる取り組みを継続的に実施していく必要がある。

3, ふだん1日どれくらいの時間ゲーム（スマホ含）をしますか（小学校）

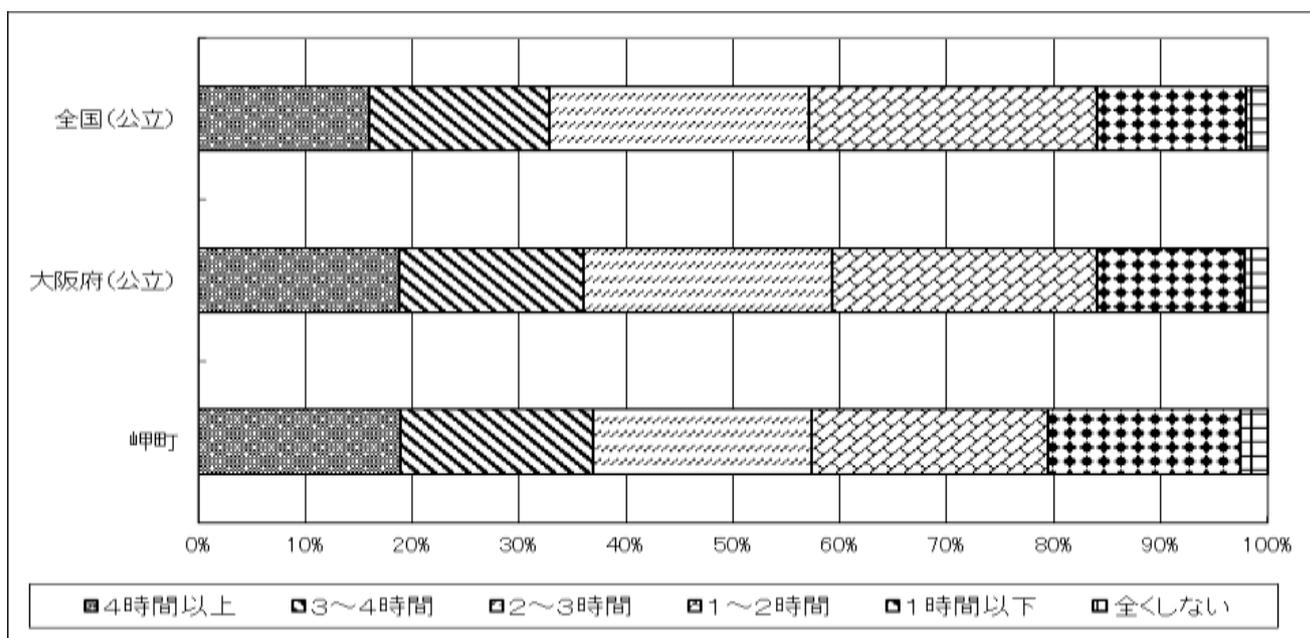


3, ふだん1日どれくらいの時間ゲーム（スマホ含）をしますか（中学校）

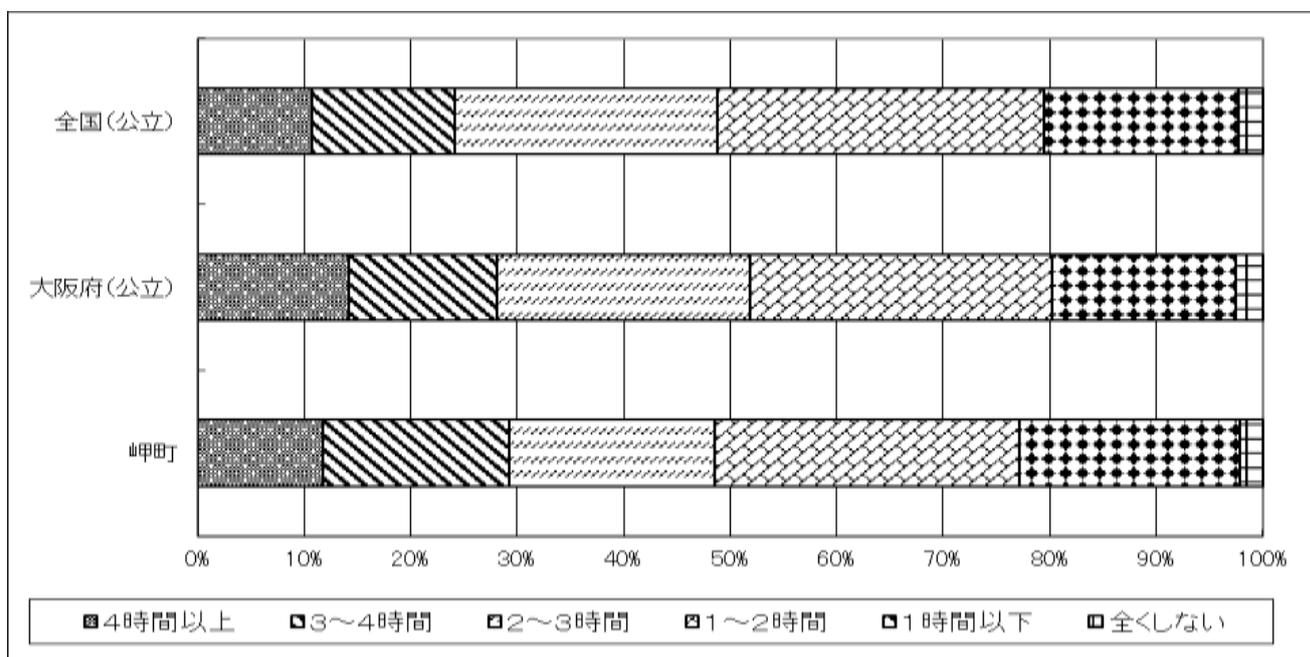


- 1時間以上使用している割合が、小学校は増加傾向である。しかし、中学校の使用時間や「全くしない」割合が増加している。今後、スマートフォンやゲームなどに依存していく可能性があることから、家庭と連携しながら取り組みを進めていく。
- 携帯電話やスマートフォンでの通話やメールやインターネットの使用時間においても増加傾向にある。使い方やモラルなどについて、今後取り組んでいく必要がある。

4, ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きますか (小学校)



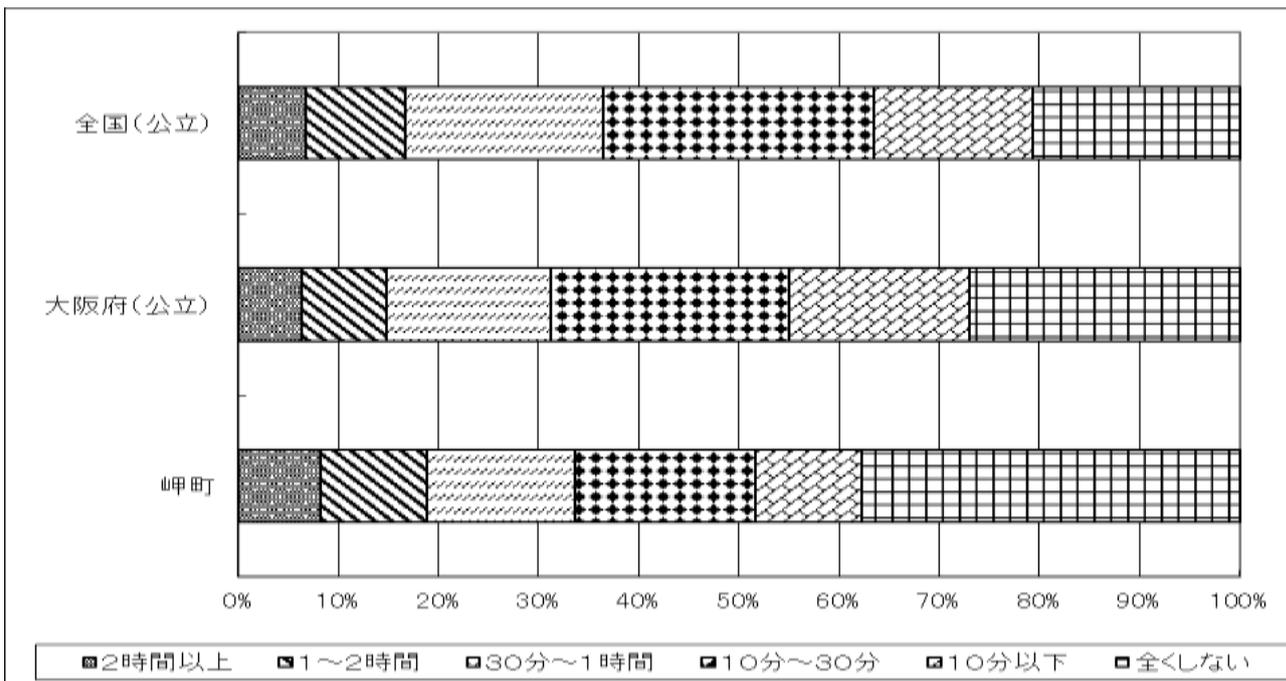
4, ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きますか (中学校)



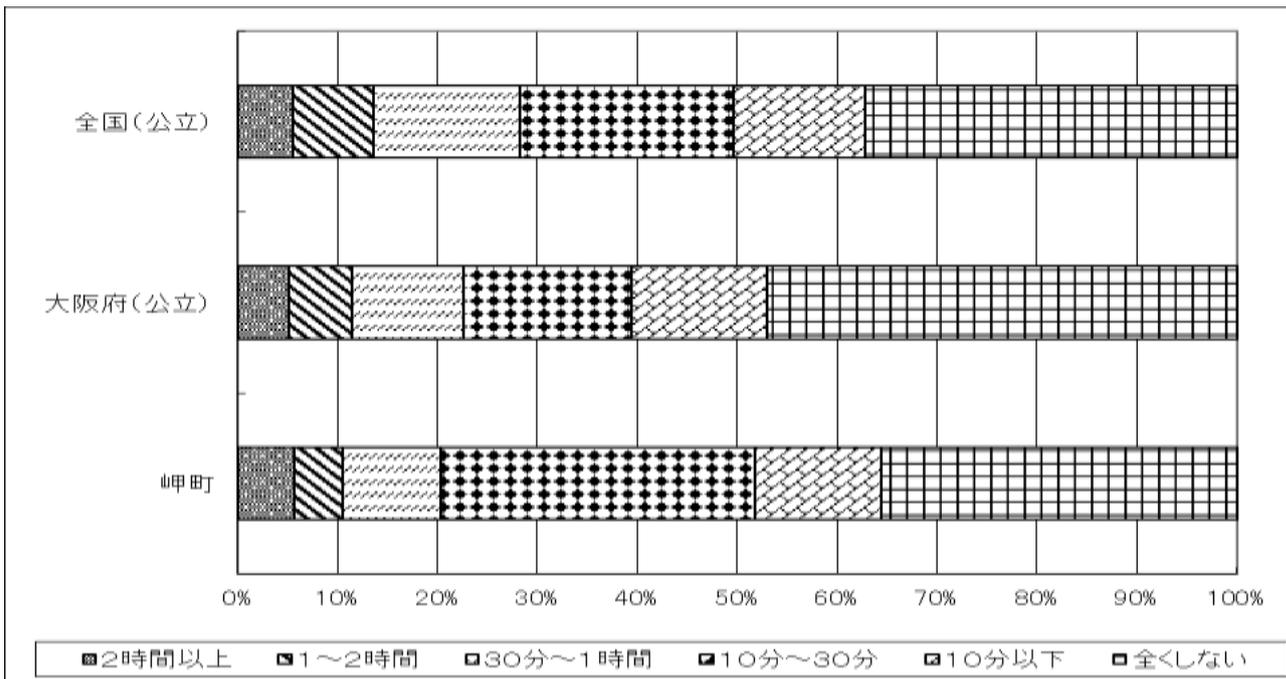
○前年度と比較して、中学校では長時間視聴する割合が減少している。今後も家庭と連携しながら進めていく。

●小学校においては、長時間視聴する割合が比較的高い。テレビに依存しない環境づくりについて、今後も家庭と連携しながら進めていく。

5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（小学校）

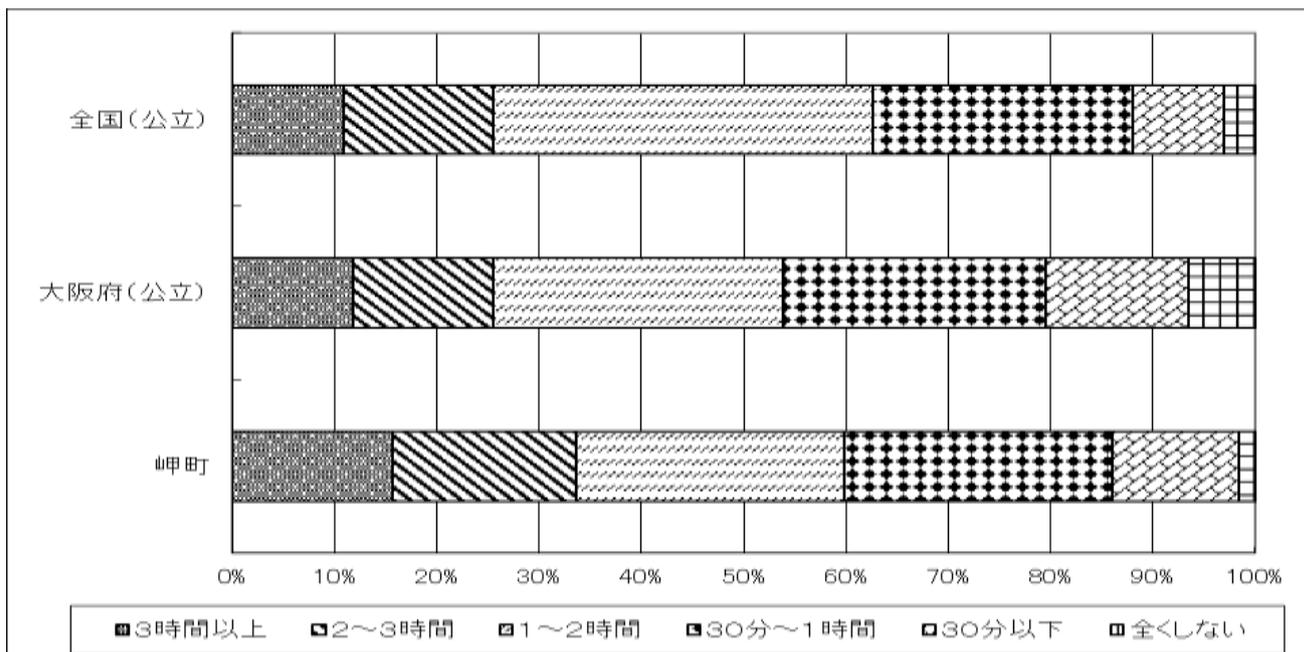


5, ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（中学校）

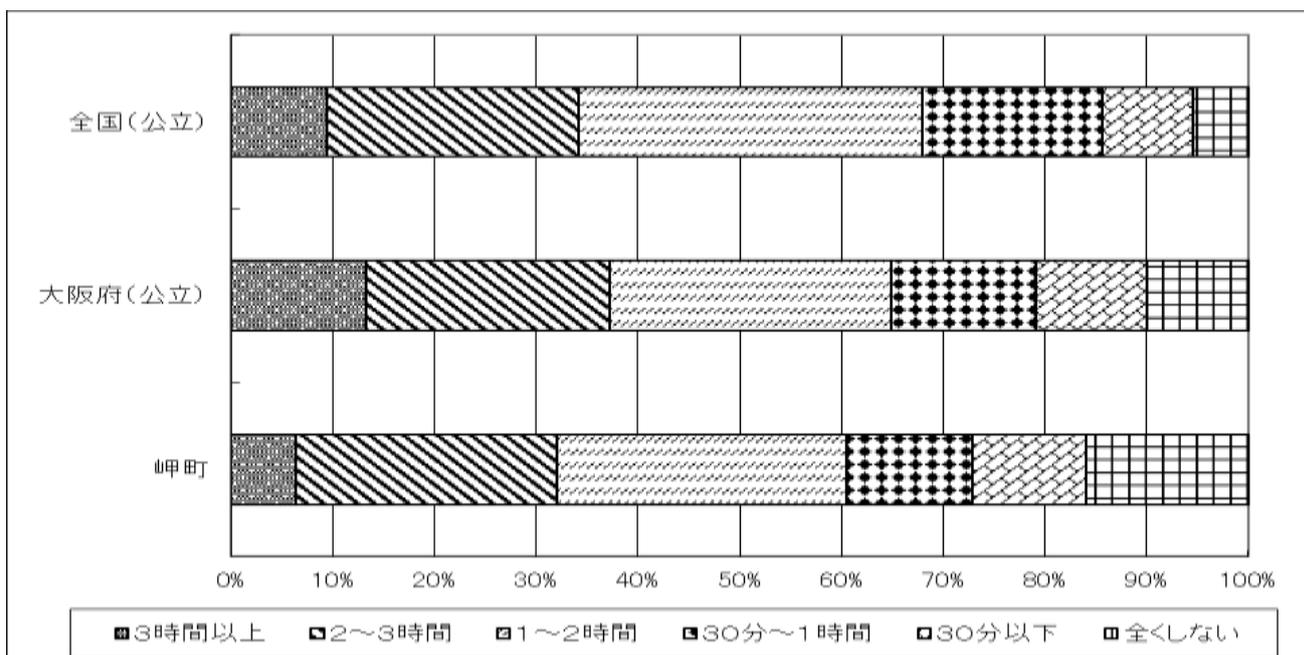


- 小学校において、1日のうち読書を「全くしない」子どもの割合は、非常に増加している。
- 中学校において、1日のうち1時間以上読書している子どもの割合は、前年度と比較して減少している。小中学校ともに読書週間の確立が課題である。

6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（小学校）

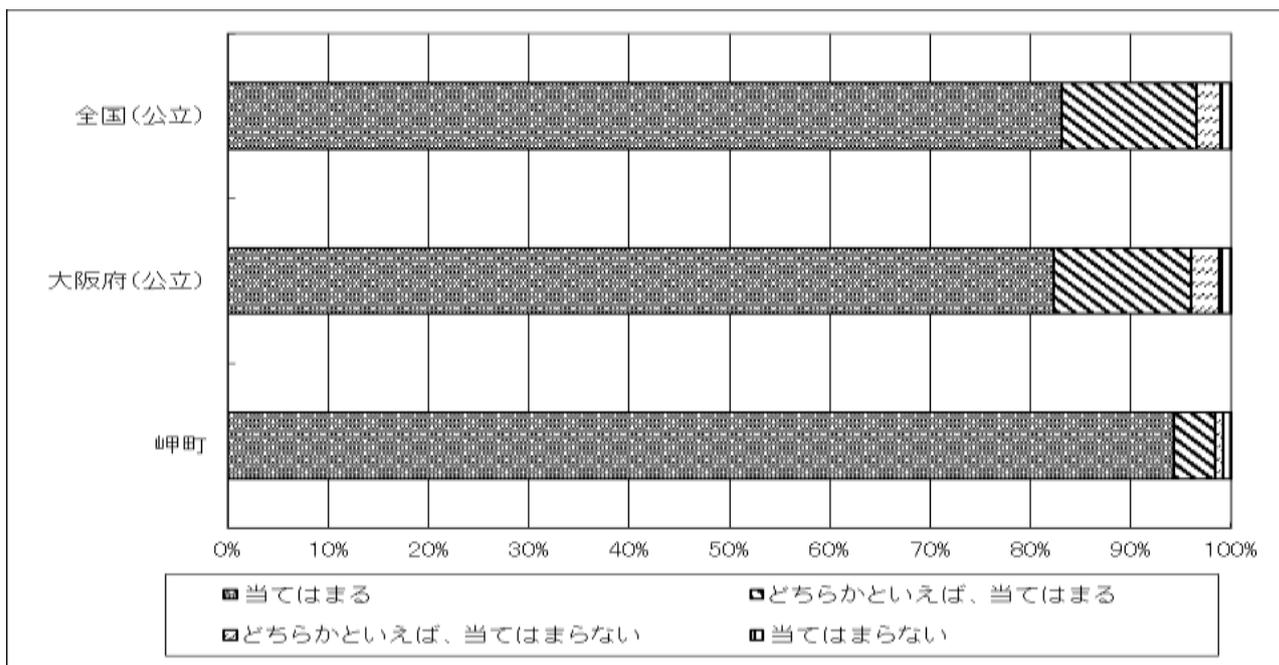


6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（中学校）

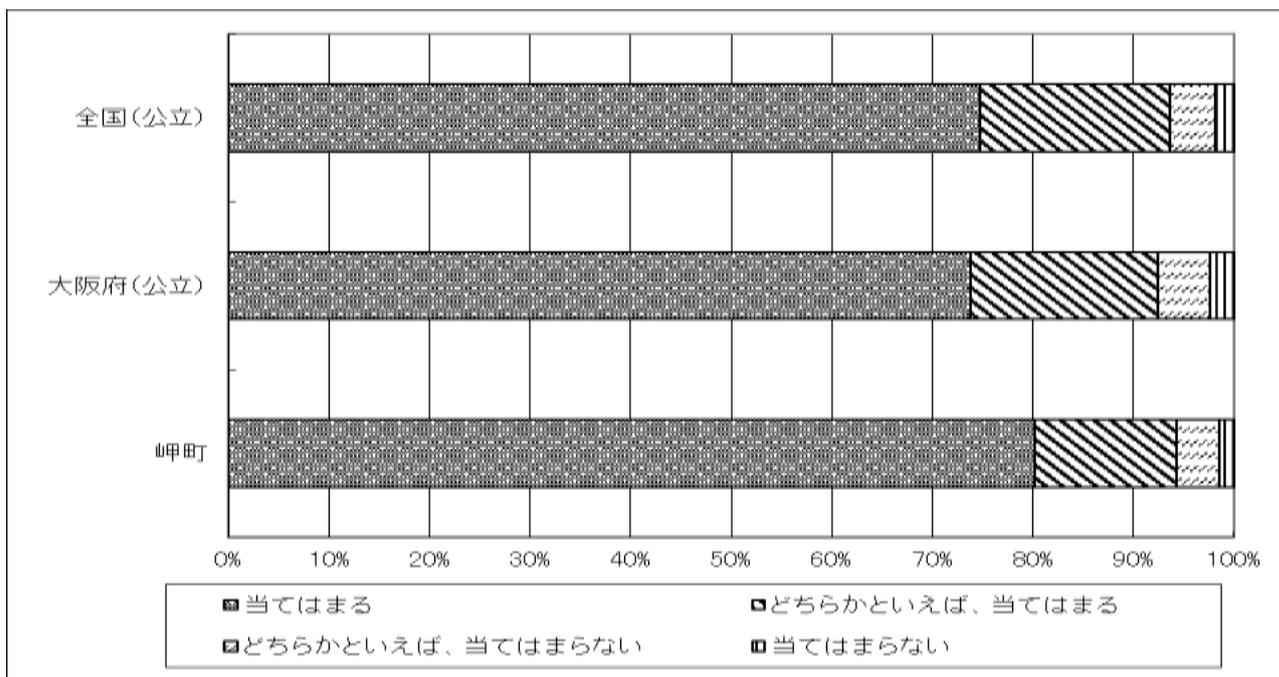


- 中学校において、「全くしない」割合は16%となっている。また、2時間以上勉強する割合が前年度に比べ減少している。家庭学習の定着を図っていく必要がある。
- ◎小学校の3時間以上勉強をする割合が増加している。また、1時間以上勉強する割合も6割を超え、前年度の5割を大きく上回っている。学習習慣の確立について、今後とも取り組みを進める。

7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（小学校）

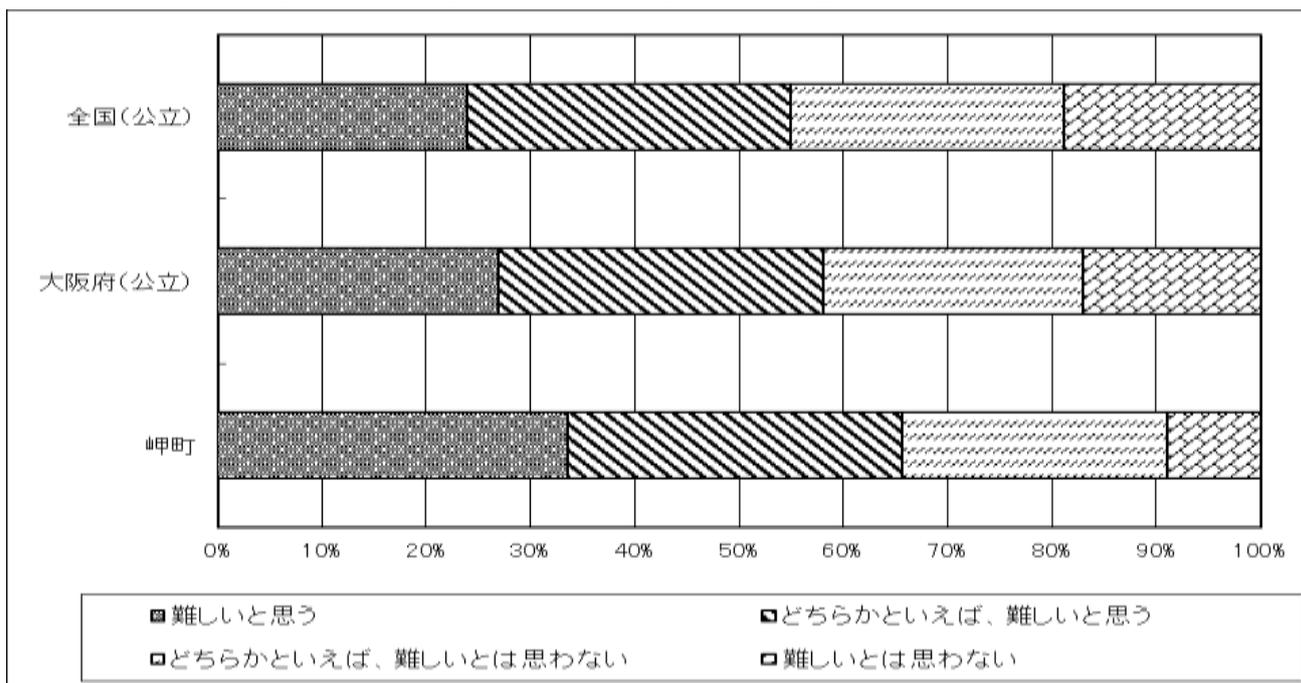


7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（中学校）

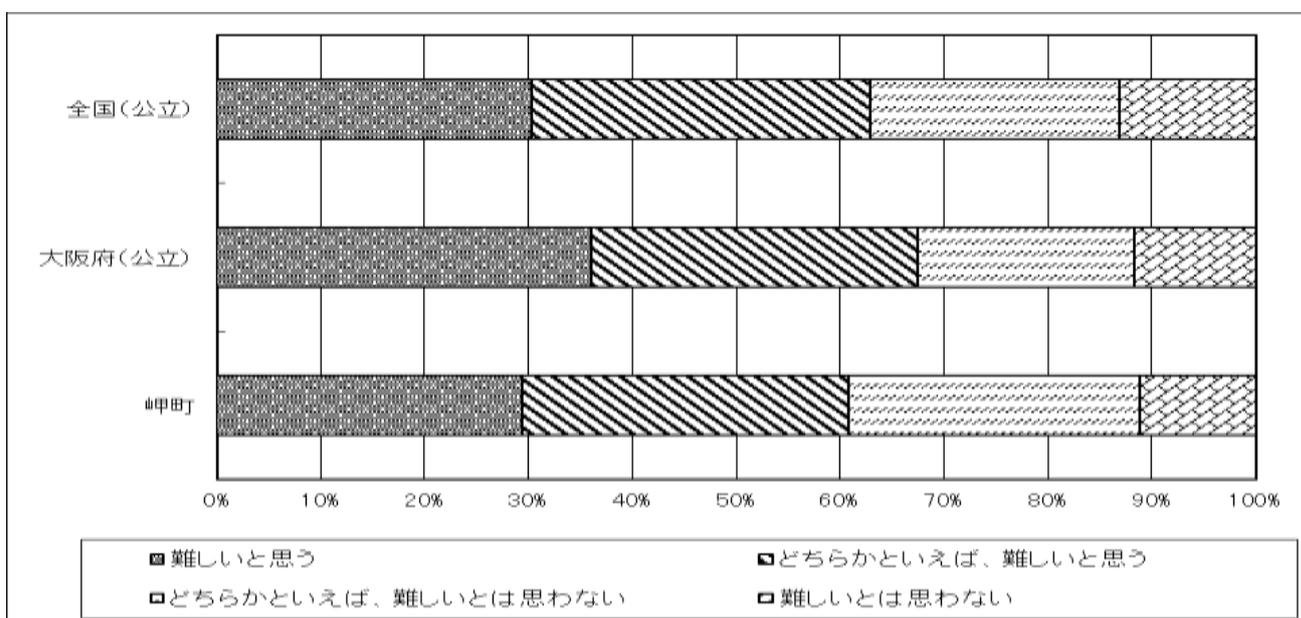


- 「当てはまる」割合は、中学校では前年度と同様80%となっている。今後ともいじめ問題を含む人権教育・道徳教育の取り組みを一層進めていく必要がある。
- 「当てはまる」割合は、小学校では94.3%であるが、前年度よりも7%増加しており、年々増加している。取り組みを一層進めていく必要がある。

8, 学校の授業などで, 自分の考えを他の人に説明したり, 文章に書いたりすることは難しいと思いますか（小学校）



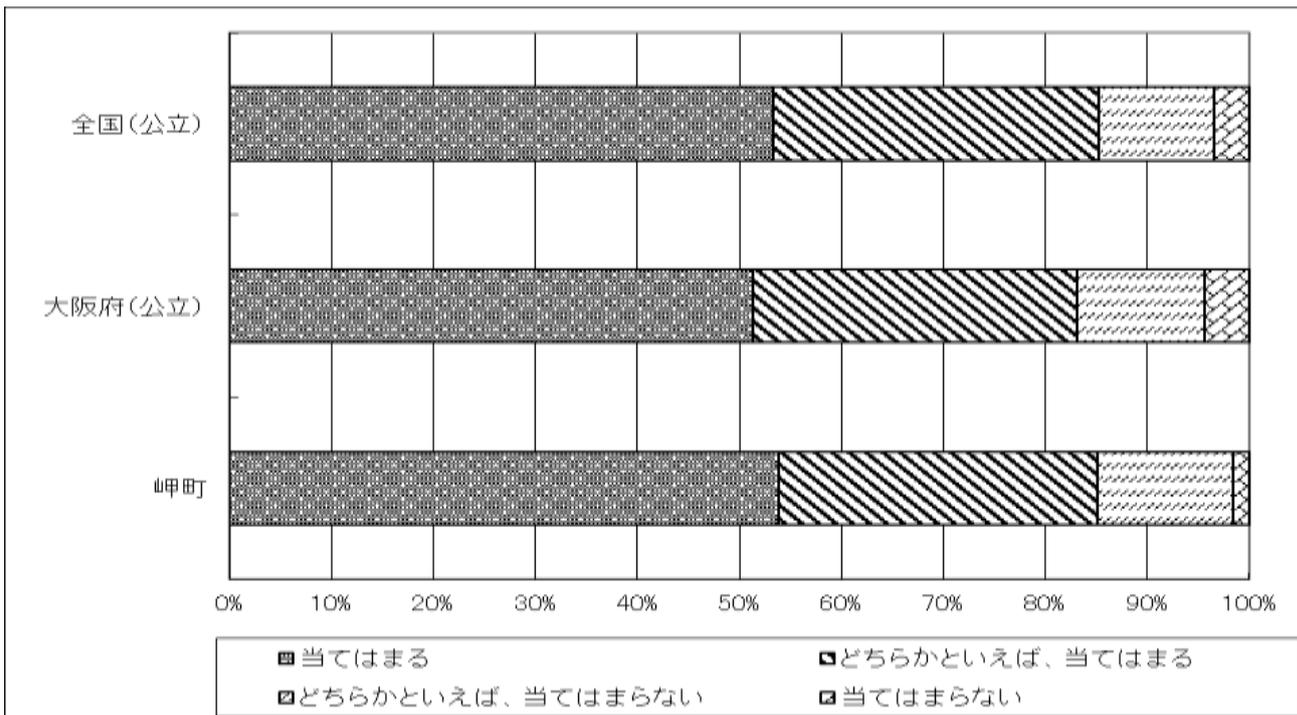
8, 学校の授業などで, 自分の考えを他の人に説明したり, 文章に書いたりすることは難しいと思いますか（中学校）



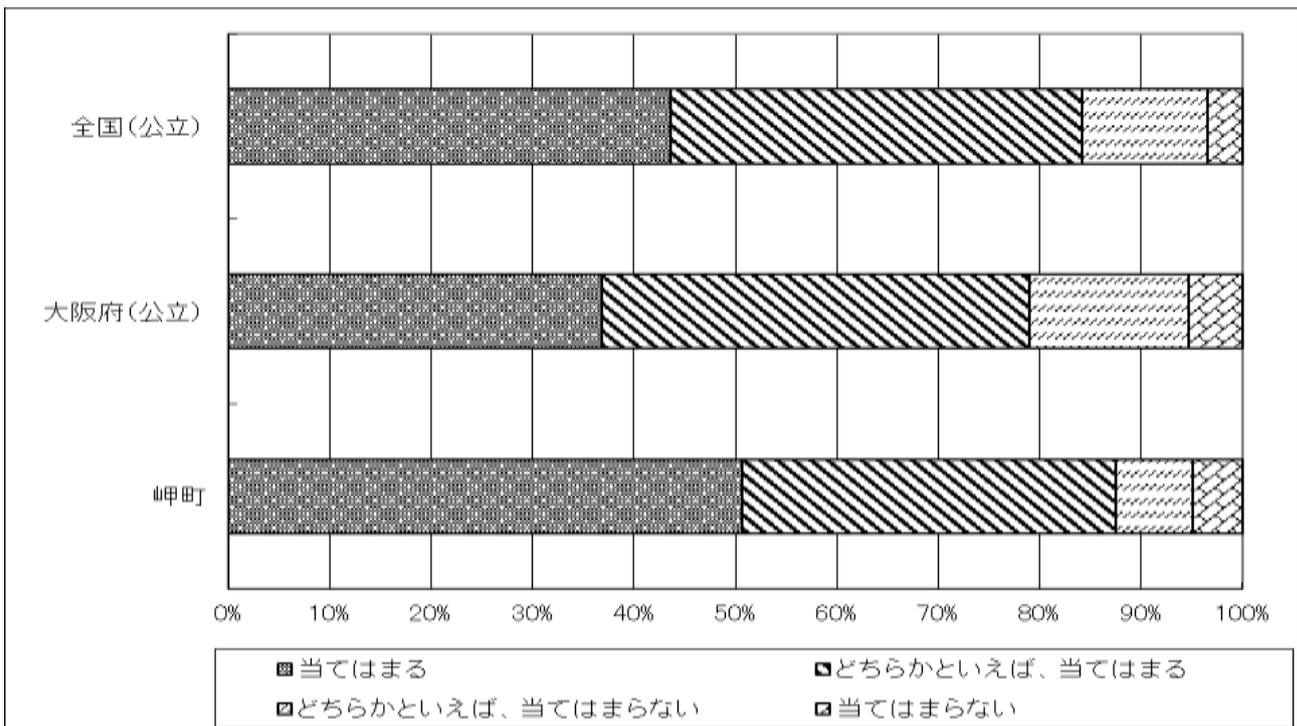
○中学校では「難しいとは思う」「どちらかといえば、難しいと思う」の割合は60.3%で前年度より5%減少している。年々減少傾向にある。引き続き、授業改善を進めていく必要がある。

●小学校において「難しいとは思う」「どちらかといえば、難しいと思う」の割合は、前年度と比較して増加しており、今後とも授業改善を進めていく必要がある。

9, 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（小学校）



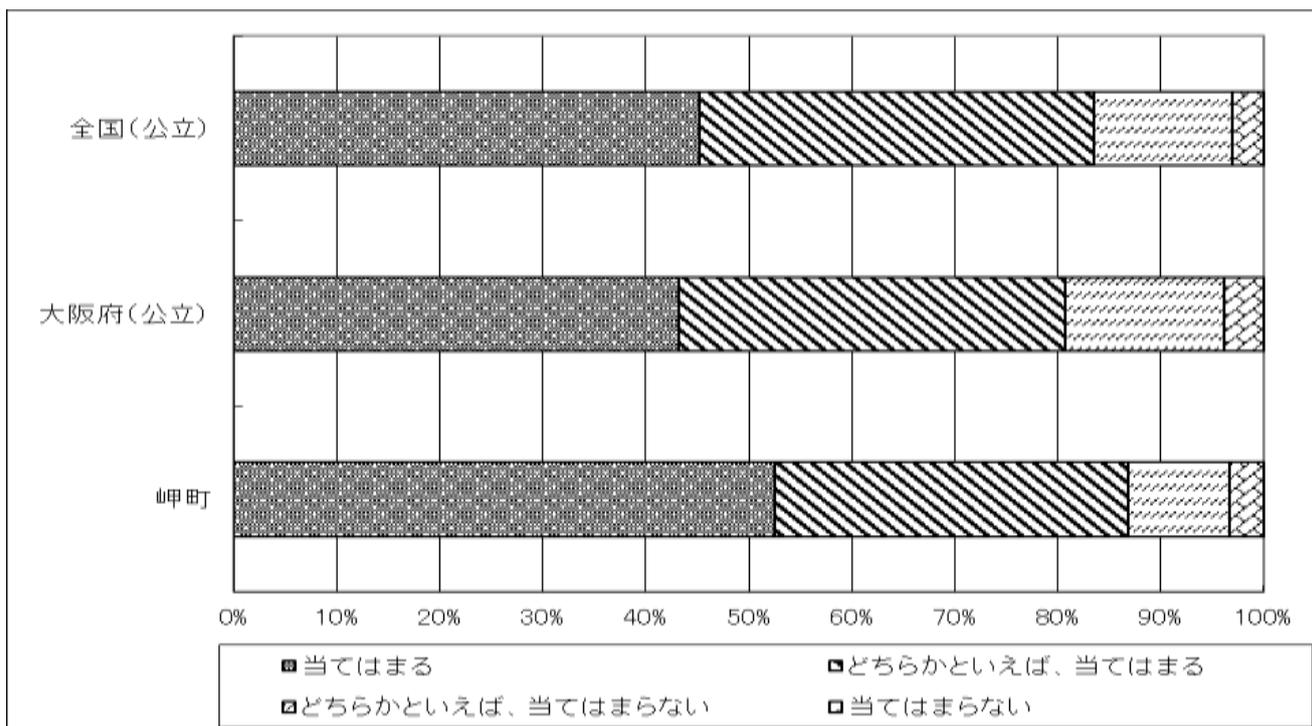
9, 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（中学校）



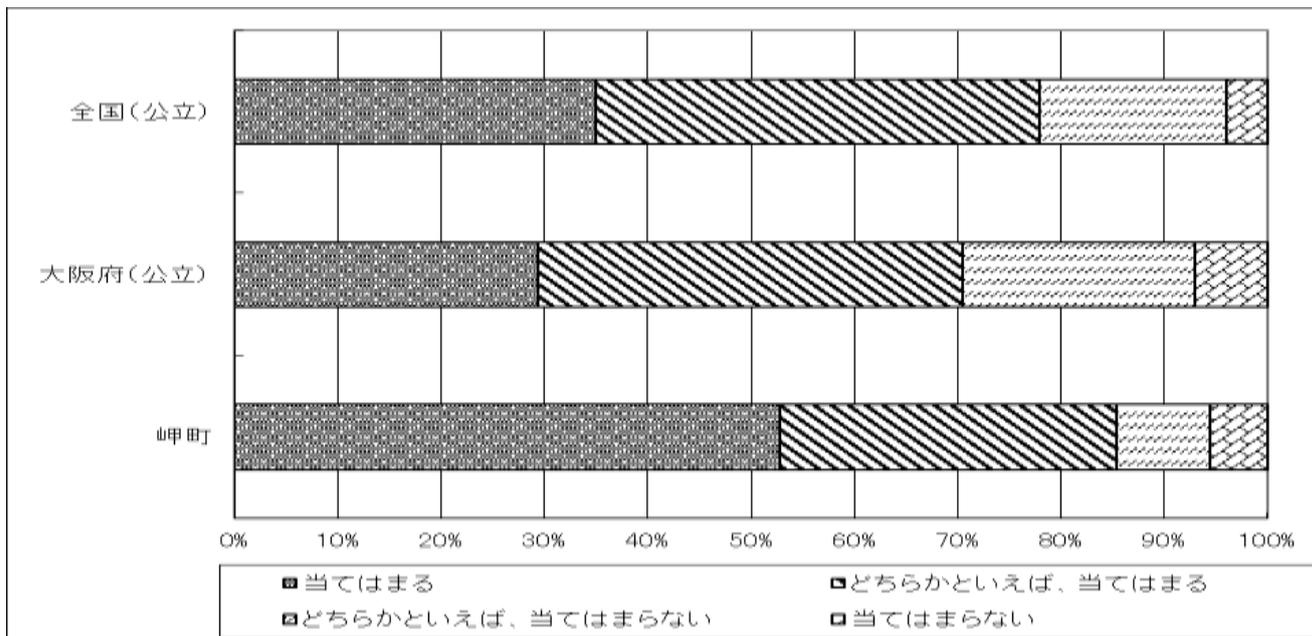
○小学校において「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合が84.4%で前年度と同様の割合である。今後ともより一層の授業改善に取り組む必要がある。

○中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合がやや減少傾向である。今後とも子どもたちの意見表明をおこなう機会が保障していく必要がある。

10, 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると
思いますか（小学校）



10, 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っ
ていると思いますか（中学校）



○小学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が86.9%であり、年々増加している。話し合い活動の充実について取り組む必要がある。

●中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が高い傾向ではあるが、前年度に比べ、8.5%減少している。今後より一層の取り組みが必要である。